

# 子育て to Earn

## 目 概要

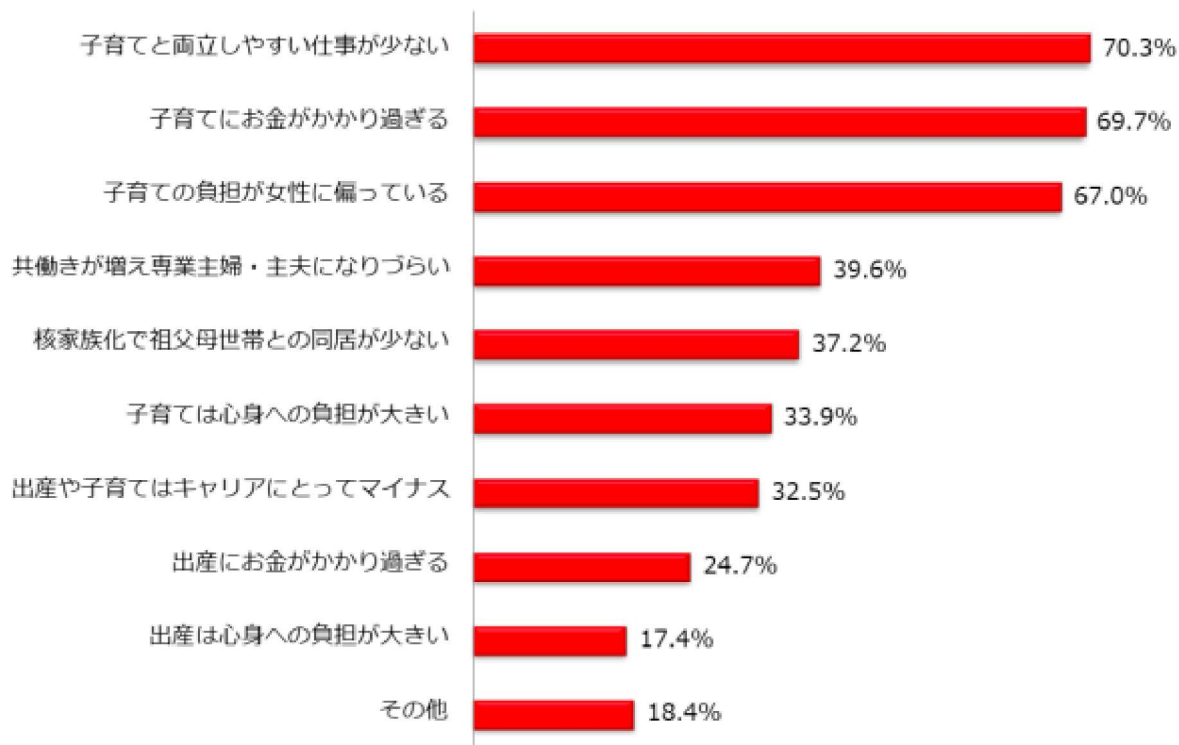
ユーザーが日々の子育て記録をつけることで小銭を稼げるトークンの発行・管理事業

## 目 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

子育てすることに対する金銭不安・職業不安の解消

第二次ベビーブーム以降、出生数は減少し続けています。

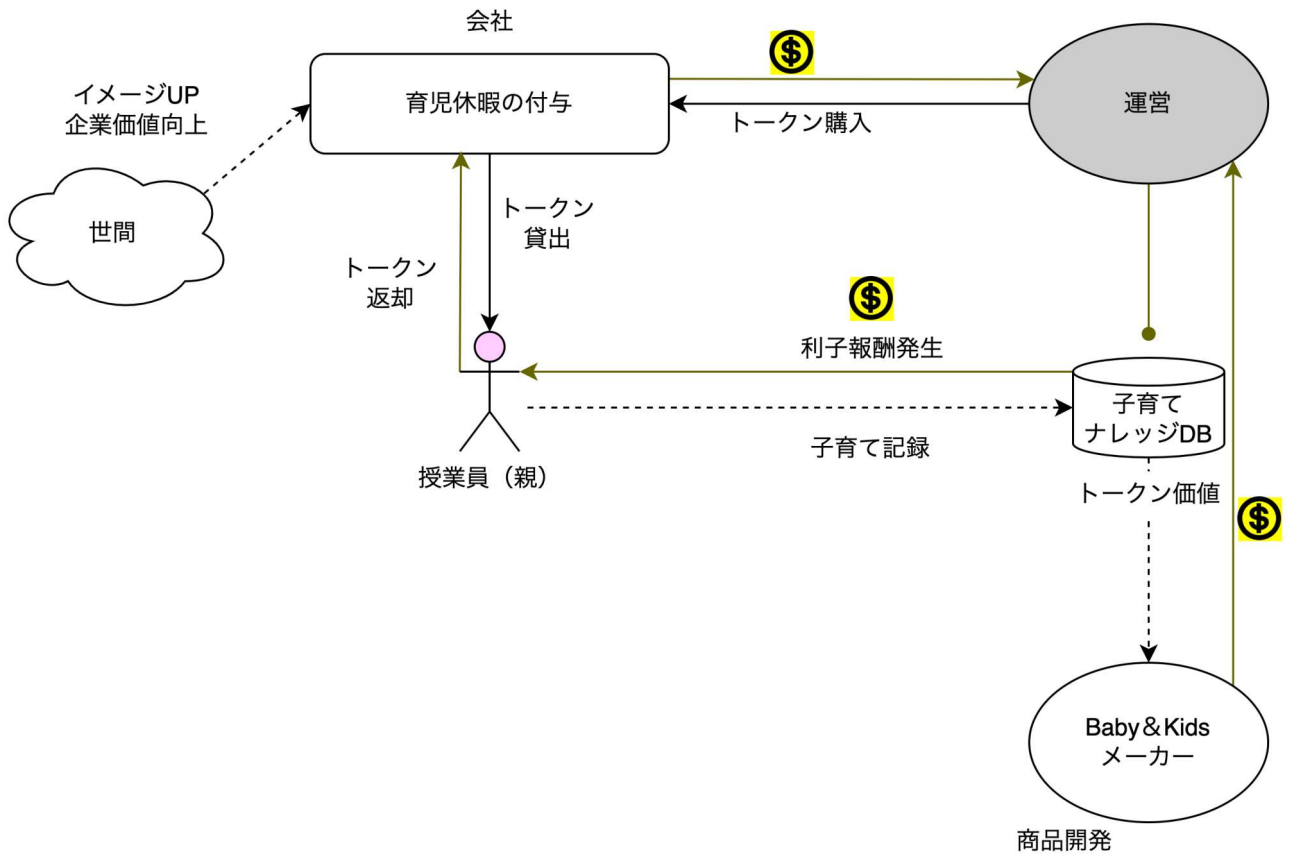
少子化の原因は何だと思いませんか？（複数回答）



## 目 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

独自トークンの発行・管理

1. トークンは企業が購入し、育児有給休暇とともに親ユーザーへトークン貸出
2. トークンを保有する親ユーザーは子育て記録をつけることで小銭報酬が入る仕組み
3. トークン価値は、ベビー・キッズメーカーへのナレッジDB価値とともに上昇する
4. 親ユーザーは子育てを終えたら企業へトークンを返却
5. 企業は本事業者へ売り戻してもいいし、保有しておいてもいい
6. トークン記録は企業のIRに活用される



**類似（独創性）：**現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

- 現在、「子育て記録が報酬につながる」サービスは確認できなかった。
- 類似としては、「育児有給休暇」があたる。

**有意性：**既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

- 八方よしで持続的なビジネスモデル
- 子育て記録のナレッジデータベースを、ベビー・キッズメーカーへの商品として価値化する

**実現方法：**どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

- 開発コミュニティの作成（ブロックチェーン開発の時流に乗る）
- 大企業から営業して認知度・利用率を拡大していく。

**課題・障壁：**実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

- 開発コスト
  - 現在ブロックチェーン開発者は、実績を上げて自分の価値を証明したいはず。そのため有志で開発メンバーを選抜し、本開発をステップと考えてもらう。開発コミュニティを作ることで克服（通常より時間はかかるが。）。なお、本事業は国際的にも価値があるため、国内に留まらず開発者をつのる。
  - 積極的に銀行・VC・公庫からの出資をつのる（ビジネスモデルの本質としては賛同を得やすい事業である）

- 浸透させるときのビジネスモデル理解ハードル
  - 体験ユーザーを募集し、小さな成功体験を積極的に表に出していく



期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

- 開発に2年、費用3000万円
- リリース後、営業代行と広告で年間2000万円
- 開発保守・運用・アップデートで年間1800万円



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

- 子育てするユーザは、子育てに対して日々小銭を稼ぎモチベーションがあがる
- 導入企業のイメージは上がり株価向上につながる
- 商品開発メーカーへのナレッジ売却により、ユーザの状況をより反映した子育てグッズが開発される